

デジタルライブラリーをもっと身近に！もっと楽しく！

国立国会図書館のデータ活用の可能性を探る講演会

# NDLデジタルライブラリーカフェ

## 第1回

2016年11月24日（木） 13:30～15:30

「オープンデータ×シビックテック×デジタルコレクション  
～デジコレを使って地域の昔を調べるWebサイトを開発～」

ゲストスピーカー

東 修作氏（Open Knowledge Foundation Japan 事務局長）

小池 隆氏（合同会社 緑IT事務所代表）

## 第2回

2016年11月25日（金） 13:30～15:30

「デジタルコレクション 自動テキスト化への道」

ゲストスピーカー

城 和貴氏（奈良女子大学理学部教授）

会場：国立国会図書館 東京本館 3階セミナールーム

東京都千代田区永田町1-10-1

お申し込み：下記ウェブサイトをご覧の上、

11月10日（木）までに電子メールでお申し込みください。

<http://lab.ndl.go.jp/cms/?q=digicafe2016>

お問い合わせ：国立国会図書館 電子情報部 標準化推進係

電話 03-3581-2331（代表）

Email : [opendata@ndl.go.jp](mailto:opendata@ndl.go.jp)

参加無料  
各回定員  
20名  
(申込先着順)

# NDLデジタルライブラリーカフェとは？

国立国会図書館では、「国立国会図書館デジタルコレクション」をはじめ、様々なデジタルライブラリーを開発、インターネットを通じて提供しています。これらのデジタルライブラリーは、図書館内での利用はもちろん、研究やアプリケーション開発などへ活用の方が広がっています。

デジタルライブラリーにかかわる研究や最新動向をもっと身近に、もっと楽しくする講演会を開催します。講演会は、「サイエンスカフェ」\*の手法を取り入れ、研究者や第一線で活躍されている人をゲストにお迎えし、ゲストが紹介する最新の話題について、参加者を交えて語り合います。

参加は無料で、どなたでもご参加いただけます。お気軽にご参加ください。

●「サイエンスカフェ」とは、科学者と市民が気軽に科学の話題について語り合う場を作ろうという試みです。市民と科学者、研究者をつなぐ新しいコミュニケーション手法として、大学や研究機関で広く行われています。「NDLデジタルライブラリーカフェ」では、デジタルライブラリーに関係のある様々なテーマを取り上げ、紹介します。

## 各回の概要

### 第1回

11月24日(木)13:30～15:30

オープンデータ×シビックテック×デジタルコレクション  
～デジコレを使って地域の昔を調べるWebサイトを開発～

ゲストスピーカー

東 修作 氏

(Open Knowledge Foundation Japan 事務局長)

小池 隆 氏

(合同会社 緑IT事務所代表)

現在、「オープンデータ」の推進を受けて、ITを使って市民自らが社会や地域を改善する「シビックテック」とよばれる活動が広がりをみせています。

「国立国会図書館デジタルコレクション」(デジコレ)を、シビックテック活動で利用するケースも現れはじめました。

第1回では、オープンデータやシビックテックで先駆的な活動をされているゲスト2名をお招きします。これらムーブメントの概要やデジタルコレクションを使ったシビックテックの事例(「江戸後期武蔵・相模国 村名マップ」など)をご紹介します。この分野でのデジコレの可能性を探ります。

### 第2回

11月25日(金)13:30～15:30

デジタルコレクション 自動テキスト化への道

ゲストスピーカー

城 和貴 氏 (奈良女子大学理学部教授)

「国立国会図書館デジタルコレクション」には、明治～昭和中期の日本近代の書籍約35万冊が含まれ、Webで誰でも使えるようになっています。しかし、これらは画像の形で公開されているため、本文テキストによる検索ができません。一般に、書籍の画像から文字を読みだす(自動テキスト化する)にはOCRとよばれるソフトウェアが使われますが、現在のOCRでは、近代の書籍の文字を正確に読み取ることにはできません。

第2回では、デジタルコレクションを使って近代書籍用のOCRを研究されている城和貴先生に、研究を始めた経緯やそこで直面した課題、研究の成果などを、OCR開発に利用した人工知能等の技術解説を交えながら、分かりやすくお話しいただきます。